

すわみつえ通信

No.185 2021年8月16日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かしいのちとくらしを守る市政に

鴻巣市コロナ対策

一日の県内新規感染者数が1000人を超えたまま感染爆発が止まりません。

鴻巣市においても感染拡大が続いています。鴻巣市では、キャンセル分ワクチンの2回目接種を予定していた保育所職員の感染も見られ、安心して子どもを預け、安全に保育が行える市政が急務となっています。

【今後のワクチン予定】

●40歳から49歳／8月23日に予約受付開始はがきを送付
●39歳以下（12歳まで）／9月中旬頃に予約受付開始

鴻巣市のワクチン接種状況 (8月11日現在)

●1回目接種

65歳以上 31,531人(86.04%)
64歳以下 7,147人(10.5%)

●2回目接種

65歳以上 26,389人(72.3%)
64歳以下 1,787人(2.6%)

無症状者を発見・保護する取り組みが重要です

ワクチン接種を安全、着実に進めることは引き続き必要ですが、無症状感染者の発見・保護の取り組みも併せて行う必要があると思います。

保健所や行政機関が逼迫している中で、専門家からは抗原検査キットやPCR検査キットを事業所や家庭に配り、国民が日常的に自主採取する方法も提起しています。自治体に財政負担を求めています。

埼玉県ホームページ コロナ新規感染 公表分

日付	鴻巣市	埼玉県	埼玉県(累計)
8月6日(金)	10人	1,215人	63,279人
8月7日(土)	21人	1,449人	64,728人
8月8日(日)	10人	1,364人	66,092人
8月9日(月)	16人	1,160人	67,252人
8月10日(火)	3人	1,166人	68,418人
8月11日(水)	8人	1,227人	69,645人
8月12日(木)	21人	1,528人	71,173人
8月13日(金)	29人	1,696人	72,869人

76回目の終戦記念日に子・孫に平和を繋ぐ

戦後生まれの我が子に、空襲体験のある母は、枕元に置んだ洋服を用意して寝ることを言いつけました。父はテレビで中国語講座を見るといつかの中国語を口にし、兵役に就いていた時の話しをしました。

今は亡き両親から受け継いだものは「戦争だけはしてはならない」ということ。このままずっと「戦後」を守り、子・孫に繋いでいく使命があると感じています。

新ごみ処理施設建設のために二市一町議員団で視察

8月6日に鴻巣・北本・吉見の2市1町の日本共産党議員団と有志で、生ごみを微生物処理(HDMシステム)で堆肥化する企業(熊谷市)を視察しました。燃やすごみを減量でき、堆肥となり循環することで環境にやさしい処理方法だと思いました。



生ごみを堆肥化する作業の現場
(株式会社熊谷清掃社)

俳句コーナー

コロナ禍やどこまで続くぬかるみぞ

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

「菅首相、ちょっと大丈夫か」 共産・小池氏、ユーチューブ番組で



共産党の小池晃書記局長は8月10日夜のユーチューブ番組で、菅義偉首相について「説明できない。自分の言葉でまったく語れない。しかも原稿も読めない。ちょっと大丈夫か」と述べた。首相は6日、広島市で開かれた平和記念式典であいさつの一部を読み飛ばすなど、発信力に課題を抱えている。

小池氏は、日本学術会議の任命拒否問題などを挙げ、これまでの自民党政権と比較しても菅政権は「科学や学問にリスペクトがない。自分のやっていることを正当化するものだけを評価するところがある。政治的スタンスの違いは今までの首相ともあったが、それ以前の『人間としてどうなの』というところがやたら目につく」と指摘。国会でのやり取りもかみ合わないとし

て、「安倍（晋三前首相）さんは立ち向かってきたり、反論してきたりしたが、菅さんはそういうのがなく、（国会審議を）やっているとむなしさが出てくる」と述べ、菅首相を題材にした映画「パンケーキを毒見する」の内山雄人監督との対談で語った。（毎日新聞 8月12日配信）

コロナ禍「国民の命を最優先に」 「あなたは本当に総理ですか」

全労連など 呼びかけ いのちまもる緊急行動

医療・介護従事者からは「コロナ病棟でトイレも水分補給もなかなかできず、防護服を外す時間もない。あまりの忙しさ、感染と隣あわせなのに手当もない」、「病棟業務で疲弊し心身ともに限界。休職・退職するスタッフも増加」との声。

「菅首相への手紙」と題して、コロナ禍で医療・介護・保健所の拡充を求める声をあげる運動が広がっています。全労連（全国労働組合総連合）などで行く「いのちまもる緊急行動」が、①コロナ禍での経験②菅首相へのお願いの2点を呼びかけているもので、「国民の命を最優先に」「国民の声を聞いてほしい」などと訴えています。

「菅首相への手紙」の宣伝広告

#菅首相への手紙

菅首相への手紙を募集します。

医療・介護・保健所・福祉の現場を充実させるために、コロナ禍「訴えたいこと」「困ったこと」などを書いてください。

コロナ禍 私が経験したこと

菅首相へのたった一つの私のお願い

医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動

あなたの力が大切です

Googleフォームから書きこめます。

「コロナ患者受け入れて混合病棟になり、末期患者も面会制限で家族に心苦しい。しわ寄せが患者に」、「普段から人員不足。平時から医療、介護職の処遇をきちんとしてほしい」と訴えています。

「訪問看護でコロナをうつさないか不安。ワクチンを打ったが、在宅ヘルパーにはいまだに打てない人がたくさんいる」と述べ、「もつと現場を見てください。国民の声を聞いてください。私たちに寄り添ってください」と求めています。

保育士は「子どもたちに感染させてしまったらと緊張の日々。最優先は国民の生命と安全です。専門家や国民の声を受け止めてほしい」。バンドマンは「一度もライブができない。音楽文化は確実に衰退している。満足に支援も補償もないあなたは本当に総理大臣ですか」と書き込みました。

2児の母は「五輪開催で人々の意識が変化し感染拡大したことは明らか。一生に一度しかない子どもたちの行事がつぶされている重みを理解していますか？あなたの決断・発言には国民に訴えかける思いが感じられません」と述べています。

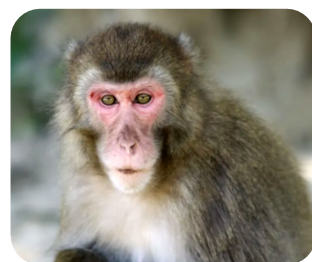
「首相への手紙」は、全労連のツイッターなどから定型フォームで入力できます。

（しんぶん赤旗 8月13日付）

サル社会に「女性の時代」 大分、初めて雌がトップに

野生ニホンザルの餌付けで知られる大分市の高崎山自然動物園は7月30日、9歳の雌ザル「ヤケイ」が、高崎山に生息するB群（677匹）のトップに立ったと発表した。同園で就任式が行われ、園のスタッフは「サルの社会にも女性トップの時代が来た」と歓迎した。

園によるとヤケイは2月末ごろ、2位の雄ザルからの求愛を後ろ盾に力を誇示し始め、序列上位の雄ザルたちから恐れられるように。6月下旬には雄のボス「ナンチュウ」（推定31歳）とのけんかで優位に立った。その後の観察で、ナンチュウがヤケイを見ると逃げる様子を確認。ヤケイ優位と判定した。（共同通信社 7月30日配信）



B群のトップに立った雌ザル「ヤケイ」=6月